

年頭の「ごあいさつ」



西ノ島町長

升谷 健

明けましておめでとうございます。
皆様方には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと年頭には英国のEU脱退、トルコの大地震などの出来事がありました。2月頃からは新型コロナウイルスの感染拡大による影響が大きく報道されるなど世界が大きく様変わりした年であったと感じております。

国内においても大規模な行事・イベントの中止はもとより、外出自粛が呼びかけられ、マスクや消毒液が品薄になるなど目には見えないウイルスの流行に振り回された1年であったように思います。

本町でも、3密を避けることに重点をおき、イベントの中止や健診会場の変更、西ノ島チャンネルを活用した情報発信などの対応を取りつつ、実際に感染者が発生した場合を想定した搬送訓練や軽症者の受け入れ施設確保などを行ってまいりました。

また、わがとこ応援商品券・食事券の発行、宿泊施

設等継続支援給付金、商業サービス業感染症対応支援事業補助金、岩ガキ種苗購入費補助、繁殖農家経営支援給付金などの施策を通じて落ち込みが懸念される町内経済の刺激や事業継続の支援策を講じるとともに福祉事業所の行う感染症対策への支援や公共施設の改修を通じ、町内の感染予防策に取り組んでおります。

有効な治療法やワクチンなどが広く普及し、感染症が収束していくことを期待していますが、町民の皆様におかれましては引き続き、マスクの着用や手洗い・手指消毒を心掛けていただき、3密を避ける行動をお願いいたします。

また、コロナ関連以外に目を向けますと、今年も7月には九州地方や島根県の西部で、8月には隠岐の島町で大雨による災害が発生しております。近年の大雨災害はゲリラ豪雨と呼ばれ、極めて短時間のうちに浸水や土砂崩れといった被害が同時多発で発生することから対応の難しい災害ですが、コロナ禍の中での避難所運営など新たな課題にも対応しながら、危機管理体制のより一層

の充実を図ってまいります。

今年度は建設をすすめている新庁舎が完成し、夏頃には移転する予定としております。また、コロナのある世界で地域の振興や住民福祉の追求をどのようにして行っていくのか、試行錯誤しながらも着実に進めていかなければならない1年になると思っております。

新しい年が、町民の皆様にとりまして、素晴らしい年でありますようにお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。